

第 42 回

全国消防救助技術大会

「和」

NATIONAL FIREFIGHTERS' RESCUE CHAMPIONSHIP 42ND



主催／一般財団法人 全国消防協会
後援／総務省消防庁・全国消防長会



「和」

NATIONAL FIREFIGHTERS' RESCUE CHAMPIONSHIP 42ND

2013年8月22日(木)

会場 【陸上】 旧広島市民球場跡地

【水上】 広島市総合屋内プール

「世界恒久平和」を願う広島県の思いと、全国の消防職員が集い、力を集結して人命救助に立ち向かう思いを発信するため、「和」をスローガンとして、第四二回全国消防救助技術大会を去る八月二二日、広島市の旧広島市民球場跡地及び広島市総合屋内プールにおいて、多くの来賓と市民を迎えて盛大に開催した。

この大会は、救助技術の高度化に必要な基本的要素の練磨を通じて、消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、全国の消防救助隊員が一堂に会し、競い、学ぶことを通じて、他の模範となる消防救助隊員を育成し、国民の消防に寄せる期待に力強く応えることを目的として毎年開催しているものである。さらに、第三五回大会からは市民の目線に立って大会内容を研究し、国民に、消防の技術の高さ、力強さ、優しさをアピールするとともに、市民の参加できる大会を目指すなど、変革を遂げながら、今大会で四二回の開催を数えるに至った。

平成二年の第一九回大会が開催されて以来、二三年ぶり三回目の大会開催となる広島市は、緑あふれる山々や市街地を流れる六つの川、穏やかな瀬戸内海など自然環境に恵まれた美しい都市であると同時に、市内中心部にある広島平和記念資料館には年間一二〇万人を超える人が訪れ、世界中に平和の尊さを訴える国際平和都市であり、広島市消防局では市民の安全を守り安心を支えるため、全職員が一丸となって消防行政を強力に推進している。

今大会は広島市消防局主管のもと、市街地の中心という交通アクセスのよいなかで、周辺地域や施設と連携して賑わいを創出することを基本理念に開催された。公共機関の協力による事前広報やイベントの開催、シャトルバスの運行、運営要員を約六〇〇名動員し、万全の態勢を整えた。

さて、大会当日は、今年の猛暑を象徴する炎天下の中、一般の方や消防関係者など約二二、五〇〇名で埋め尽くされた会場内は、開会式を目前に熱気と興奮に包まれた。

午前八時五五分、広島市消防音楽隊の軽快な演奏に合わせて、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された九六七名の精鋭たちが堂々と入場し、開催地消防長である滝澤広島市消防局長の、水上の部にあつては、野田名古屋市消防長の開会宣言で大会の幕は開いた。

開会式ではまず、消防使命達成のため殉職された消防職員の御霊に対して黙とうを捧げた。続いて国旗・大会旗掲揚の後、大会会長である大江全国消防協会会長のあいさつ、開催地である松井広島市長のあいさつ、大石消防庁長官、秋本日本消防協会会長、湯崎広島県知事、碓井広島市議会議長の

祝辞と続き、大会審判長の石松北九州市消防局長による審判長指示が行われた。その後、出場隊員を代表して広島市消防局の村上隊員が、水上の部においては竹松隊員が、力強く隊員宣誓を行った。

開会式終了後のオープニングセレモニーでは、広島県立五日市高等学校書道部の皆さんによる、消防救助への思いを込めた素晴らしい書道パフォーマンスが披露された。

いよいよ訓練の幕開けである。全国から選りすぐられた精鋭たちの眼差しは一段と鋭くなり、訓練に臨む。救助のプロとしての誇りと燃えさかるような熱き魂を胸に、磨き抜かれた技を次々と披露する隊員の姿に、観覧席からは歓声と激励の拍手が鳴り止まなかった。

また、水上会場のオープニングセレモニーでは、広島文教女子大学付属高等学校和太鼓部「文教太鼓 葵」の皆さんにより力強い演技が披露された。

訓練は、陸上、水上とも順調に進行し、最後は、技術訓練。陸上の部では広島市消防局、福山地区消防組合消防局、新潟市消防局の三隊が同時進行で「震災に伴う低所救助」をテーマに、水上の部では神戸市消防局と札幌市消防局の二隊が「切迫した環境下での救助活動」をテーマに、創意工夫を凝らした救助技術を披露した。会場で技術訓練を見守る隊員の眼差しも、細部にわたるまで吸収しようとする姿が感じられた。

閉会式が始まるまでの間は、広島市消防音楽隊とカラーガード隊による華やかな演奏と特別演技が披露された。

閉会式では、各種目の入賞者を大江大会会長が表彰し、「十分な安全管理のもと、参加隊員も怪我をすることなく無事大会を終了することができた。改めて大会関係者の皆様に対してお礼を申し上げます。陸上の部、水上の部でそれぞれの隊員の皆さんが、日頃から鍛え抜かれた気力、体力及び救助技術を遺憾なく発揮し、素晴らしい成果をおさめられたことは、わが国の消防救助技術が将来にわたり、受け継がれていくものと確信している。消防救助技術の更なる向上に日々努められるとともに、本日の訓練成果を災害でも十分に発揮し、地域住民の負託に応えられることを切に希望する。」との講評があった。国旗降納に続いて、大会旗が滝澤広島市消防局長から次期開催地の石井千葉市消防局長に引き継がれ、石井局長が次期開催地としてあいさつした。最後に、滝澤広島市消防局長が閉会を宣言し、第四二回全国消防救助技術大会は幕を下ろした。

猛暑の中、広島市消防局の皆様をはじめ、大会運営に当たられた全ての方々に対し、衷心より感謝申し上げます。



挨拶

一般財団法人全国消防協会

会長 大江秀敏

第42回全国消防救助技術大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、公務ご多忙のところ、大石消防庁長官、秋本日本消防協会会長、湯崎広島県知事、松井広島市長、碓井広島市議会議長をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、このように盛大に開催できますことを厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の消防救助技術は、隊員の皆さんの救助に対する熱意とたゆまぬ努力、さらには、各種資機材等の改良により、着実に発展を遂げ、国内のみならず海外において発生した大規模災害にも国際消防救助隊として派遣され、懸命な救助活動を実施するなど、世界に誇れる救助技術を身に付けてまいりました。

しかしながら、全国各地で発生している集中豪雨などの自然災害、さらには、グループホームや危険物施設における火災、トンネル内天井板崩落事故などの特異な災害などにより、多くの尊い人命と貴重な財産が失われており、消防の役割は、より一層重要になっております。

参加隊員の皆さんは、本大会において、安全管理に十分留意され、これまでの訓練の成果を存分に発揮されますとともに、消防救助技術の練磨・向上に一層努め、地域住民の負託に応えられるよう切望いたします。

結びに、本大会の開催にあたり、ご協力を賜りました関係各位に対しまして、深く感謝申し上げますとともに、ご列席の皆様様の益々のご健勝を祈念申し上げます、挨拶といたします。



祝辞
広島県知事
湯崎英彦



祝辞
日本消防協会会長
秋本敏文



祝辞
消防庁長官
大石利雄



あいさつ
広島市長
松井一實



次期開催地あいさつ
千葉市消防局長
石井幸一



審判長指示
北九州市消防局長
石松秀喜



開会宣言・閉会宣言
広島市消防局長
滝澤宏二



祝辞
広島市議会議長
碓井法明

陸上の部

ロープブリッジ渡過 (基礎訓練)



水平に展開された渡過ロープ二〇メートル(往復四〇メートル)を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。ロープ渡過の基本的な訓練。

【標準所要時間 一八秒】

★表彰者

【北海道】

南渡島消防事務組合消防本部

関谷 和真

西胆振消防組合消防本部

坪川 侃

深川地区消防組合消防本部

松下 翔平

富良野広域連合消防本部

本多 佑生

青森地域広域消防事務組合消防本部

堀内 航

秋田市消防本部

利部 孝司

宮古地区広域行政組合消防本部

青地 将太郎

村山市消防本部

後藤 真也

仙台市消防局 穴戸 大樹

郡山地方広域消防組合消防本部 相原 翔平

上越地域消防事務組合消防本部 長井 和也

高崎市等広域消防局 増田 啓士

宇都宮市消防本部 鈴木 雅和

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部 伊藤 章弘

川越地区消防局 尼崎 澄哉

安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部 稲葉 匡史

東京消防庁 大槻 昌秀

藤沢市消防局 大森 洋平

大月市消防本部 小俣 茂雄

上田地域広域連合消防本部 須藤 輝

吉田町牧之原市広域施設組合消防本部 鈴木 達也

【東海】

西尾市消防本部 福田 崇史

大垣消防組合消防本部 坂山 翔一

紀勢地区広域消防組合消防本部 西 広忠

【東近畿】

富山県東部消防組合消防本部 上 楽 航

敦賀美方消防組合消防本部 角田 敬洋

湖北地域消防本部 木野 盛史

京都市消防局 高橋 翔

奈良市消防局 堀内 喬太

和歌山市消防局 小原 瑛策

【九州】

八女消防本部 有田 浩一

佐賀広域消防局 佐賀 大地

佐世保市消防局 山口 大地

大分市消防局 古場 大樹

宮崎市消防局 中原 光輝

那覇市消防本部 玉城 義之



はしご登はん (基礎訓練)

自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

【標準所要時間 一四秒】

★表彰者

【北海道】

南渡島消防事務組合消防本部 家保 登至

日高東部消防組合消防本部 加渡 康剛

北留萌消防組合消防本部 尾崎 誓哉

北見地区消防組合消防本部 北澤 和樹

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 浦須内 俊

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 倉橋 大地

遠野市消防本部 堀切 翔人

西置賜行政組合消防本部 佐藤 喬司

石巻地区広域行政事務組合消防本部 佐々木 大輔

喜多方地方広域市町村圏組合消防本部 小林 準

加茂地域消防本部 枝村 良輔

【関東】

富岡甘楽広域市町村圏整備組合消防本部 小林 大輔

宇都宮市消防本部 中川 晶太

川越地区消防局 新井 紀雄

安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部 原 紘太

東京消防庁 後藤 優平

大和市消防本部 関 隼人

甲府地区広域行政事務組合消防本部 廣瀬 啓太

【東海】

松本広域消防局 城取 祐介

田方消防本部 青木 健二

知多南部消防組合消防本部 柳 裕也

海津市消防本部 飯田 裕哉

桑名市消防本部 平野 隆治

【東近畿】

砺波地域消防組合消防本部 横川 竜也

かほく市消防本部 荒木 貴裕

若狭消防組合消防本部 松宮 大祐

湖北地域消防本部 廣部 大智

山辺広域行政事務組合消防本部 内野 智哉

和歌山市消防局 山田 桂司

【近畿】

八尾市消防本部 宮林 誠

真庭市消防本部 難波 亮太

鳥取県東部広域行政管理組合消防局 田中 秀和

日田珍珠広域消防組合消防本部 梅木 直人
 薩摩川内市消防局 前原 孝一
 宜野湾市消防本部 崎浜 隆作

ロープ応用登はん (連携訓練)



登はん者と補助者が二人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを一メートル登はんする。
 【標準所要時間一六秒】

★表彰者

【北海道】

西胆振消防組合消防本部 花田 翔太
 千歳市消防本部 福田健太郎
 大雪山消防組合消防本部 中敷 康成
 渡辺 輝明
 小椋 陽介
 加藤 雄司
 北十勝消防事務組合消防本部 小野内章人
 長沢 拓也

【東北】

十和田地域広域事務組合消防本部 甲地 大貴
 山口 祐樹
 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 熊谷健太郎
 右谷 慎悟
 大船渡地区消防組合消防本部 山田 隆一
 今野 広大
 木本 修
 赤塚祐太郎
 佐藤 啓太
 田中恒太郎
 天童市消防本部
 岩沼市消防本部

郡山地方広域消防組合消防本部 影山 大助
 新発田地域広域事務組合消防本部 菊地 郁聡
 大西 裕徳
 上野 亮

【関東】

太田市消防本部 鈴木 彰人
 黒磯那須消防組合消防本部 深須 貞治
 二戸 佑治
 後藤 康臣
 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部 小林 寛
 宮本 直幸
 朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部 木村 賢二
 大熊 貴之
 若梅 勝規
 新井 正博
 加藤 勇樹
 平野 清久
 沼田 将明
 原田 良亮
 岸本 拓
 市川 行尚
 竹内賢太郎
 河西秀太郎
 志太広域事務組合志太消防本部 小野田宗志
 高橋 新一

旭市消防本部
 東京消防庁
 愛川町消防本部
 峡南広域行政組合消防本部
 諏訪広域消防本部
 志太広域事務組合志太消防本部

【東海】

春日井市消防本部 鈴木 雄太
 不破消防組合消防本部 落合 正登
 桑名市消防本部 桑木野 守
 石川 智史
 松澤 俊文
 坂口 千紘

【東近畿】

富山市消防局 八十島隆輔
 内灘町消防本部 山本 達浩
 大津市消防局 茶谷 哲平
 隣 圭輔
 南 尊之
 山本 勝巳
 新納 史久
 新内 秀樹
 金田 憲和
 中和広域消防組合消防本部
 宇治市消防本部
 大津市消防局
 宇治市消防本部

伊都消防組合消防本部 山本 健之
 門 誠
 河野 稔映
 中野 勝紀
 小野 享俊
 神田 健

【中国】

赤磐市消防本部 西本 裕紀
 石原 徹也
 鳥取県西部広域行政管理組合消防本部 谷村 和也
 松本 知幸
 石徳 隼也
 杉本 武史
 重田 雅行
 重満 貴司
 川端 啓輔
 伊豆 啓禎
 兼森 一禎
 山根 輝久

東広島市消防局
 雲南広域連合雲南消防本部
 光地区消防組合消防本部
 三観広域行政組合消防本部
 鳴門市消防本部
 上島町消防本部
 幡多西部消防組合消防本部

【九州】

春日・大野城・那珂川消防組合消防本部 大谷 啓剛
 真部 誠也
 高橋 渉
 藤本 尚士
 濱田 泰也
 檀上 寛行
 打井 健太
 福見慎太郎

【北九州】

平戸市消防本部 藤山 浩司
 森田 浩司
 西山 大輔
 立石 忠幸
 水俣芦北広域行政事務組合消防本部 山田 康光
 山本 伸也
 淵上 昭和
 工藤 智博
 吉野 昭博
 吉田 宗平
 橋口 尚悟
 岡元 大輔
 片野田崇行
 西平 秀樹
 金城 史典
 竹田市消防本部
 宮崎市消防局
 指宿南九州消防組合
 東部消防組合消防本部

ほくく救出 (連携訓練)



三人一組(要救助者を含む)で、一人が空気呼吸器を着装して長さ八メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、一人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。
 【標準所要時間一分一〇秒】

★表彰者

【北海道】

南渡島消防事務組合消防本部 堂田 恭平

【東北】

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部 本間 晃汰
 大野 淳悟
 柳町 享
 木村 彰寿
 小泉 陽一
 佐藤 祐樹
 佐藤 周作
 賢司
 秋田市消防本部

大船渡地区消防組合消防本部 新川 真理王
 志田 雄太
 西村山広域行政事務組合消防本部 泉田 一樹
 庄司 恵介
 大崎地域広域行政事務組合消防本部 渡邊 卓
 佐藤 隆之
 菊地 大樹
 郡山地方広域消防組合消防本部 福島 和宏
 服部 秀明
 木村 昇平
 新発田地域広域事務組合消防本部 五十嵐慎之亮
 権沢 隆文
 石井 大志
 池田 崇統
 上原 桂人
 増田 直大
 星 友徳
 加藤 徳之
 藤田 政和
 坪井 薫
 綿引 利一
 稲見 康太
 小藤 裕亮
 神藤 春樹
 比留間 規之
 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部 荻島 規之
 為野 今夫
 間野 龍介
 平澤 祐樹
 植村 悠
 鎌田 眞也
 小林 敦
 辻 純希
 諏訪 真弥
 山田 源太
 千頭和陽平
 山岸 文則
 笹井龍太郎
 塚田 佑太
 福與 和宜
 山口 哲矢
 吉田 純平
 志太広域事務組合志太消防本部

【東海】 大府市消防本部 河端 郁弥
 大崎 雅一
 稲垣 健一
 藤原 慶和
 野沢 純也
 仲井 顕史
 近藤 健太郎
 伊藤 通英
 西山 賢志
 堂田 昌一
 三輪 俊作
 浦田 涼生
 余海 亮太
 細川 智司
 清水 裕廉
 八王 元氣
 藤田 祥太
 入場 重高
 石井 悠介
 塩見 浩志
 澤田 浩志
 山口 裕之
 谷野 由一
 森口 晃
 平松 翔
 川崎 恵太
 谷口 恵太
 松井 謙佑
 松上 倫也
 辻 岳史
 林 大夢
 定本 友樹
 三田 誠司
 内田 文志
 久保田 修司
 友永 典男
 安永 敏行
 山近 則晃
 難波 秀平
 前川 翔太
 吉川 友規
 松本圭一郎
 【東近畿】 桑名市消防本部
 高岡市消防本部
 羽咋郡市広域圏事務組合消防本部
 敦賀美方消防組合消防本部
 大津市消防局
 吉野広域行政組合消防本部
 和歌山市消防局
 神戸市消防局
 【中国】 広島市消防局
 府中町消防本部
 岩国地区消防組合消防本部
 【四国】 徳島市消防局



ロープブリッジ救出（連携訓練）

久万高原町消防本部 釣井 拓良
 土佐市消防本部 木山 広太
 大野 秀樹
 山下 冬真
 石本 侑
 山本 晃士
 井樋 一馬
 畑 洋則
 福田 佳祐
 原 翔太郎
 北村 展啓
 尾田 清海
 川田 良二
 池田 勝美
 櫻井 英俊
 宮園 将貴
 阿津 朋幸
 折津 拓也
 南崎 和彦
 重水 啓徳
 徳重 祐児
 能勢 勇作
 阿波根 大地
 新里 将司
 名護 剛
 鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部
 豊央地域広域市町村圏組合消防本部
 天草広域連合消防本部
 国東市消防本部
 都城市消防局
 日置市消防本部
 うるま市消防本部

【表彰者】
 四人一組（要救助者を含む）で、二人が水平に展張された渡過ロープ（二〇メートル）により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練。
 【標準所要時間一分一五秒】
 【北海道】 東十勝消防事務組合消防本部 岩田 優一
 只野 雄大
 嵯峨 正章
 野村 康太
 【東北】 郡山地方広域消防組合消防本部 三浦 正人
 八幡修太郎
 大竹 洋史
 高橋 潤
 【関東】 黒磯那須消防組合消防本部 三森 伸也
 後藤 将之
 八木沢 敏太
 渡邊 雄亮
 中 知亮
 濱崎 達也
 本橋 将光
 百々 義貴
 村田 智明
 鈴木 良明
 館岡 大佑
 渡辺 司
 佐藤 文哉
 井上 誠二
 石塚 誠二
 深山 知宏
 長崎 真士
 岩村 伸也
 野澤 寛一
 櫻井 直樹
 吉江 利光
 佐々木 孝明
 松本広域消防局
 藤沢市消防局
 春日部市消防本部
 埼玉西部消防局
 埼玉市消防本部

〔東海〕
岡崎市消防本部

新城市消防本部

〔東近畿〕
大津市消防局

京都市消防局

吉野広域行政組合消防本部

〔近畿〕
大阪市消防局

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

〔中国〕
広島市消防局

江津邑智消防組合消防本部

丸山 雅実
山本 耕太

蜂須賀 大克

加藤 健吾

内田 浩太

大山 卓益

鈴木 秀明

伊藤 隆史

下田 亮

梅田 康弘

中田 明夫

佐山 真也

細山 絢也

勝田 拓馬

嘉根 健太

富田 竜太

野村 智紀

裏西 裕紀

森西 隆昭

井上 真啓

川崎 誠一

田淵 祐一

柿嶋 朋一

木下 忠史

〔四国〕
丸亀市消防本部

三谷 幸司

鶴川 章浩

大平 大地

山川 大

〔九州〕
県央地域広域市町村圏組合消防本部

吉武 徹哉

島中 大樹

藤山 慎司

田淵 敬人

佐藤 智一

齋藤 勝弘

日下部 宏弥

佐藤 義明

酒田地区広域行政組合消防本部

〔東北〕
新潟市消防局

石川 智也

田村 悟史

伊藤 貴洋

佐藤 智一

五十嵐 光盛

小田 雄介



引揚救助（連携訓練）

五人一組（要救助者を含む）で、二人が空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ降下し、検索後、要救助者を塔上へ搬送し、四人で協力して塔上へ救出した後、ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール等での災害を想定した訓練。
【標準所要時間二六分三〇秒】

★表彰者

長岡市消防本部

〔関東〕
千葉市消防局

柏市消防局

川崎市消防局

大和市消防本部

〔東海〕
豊田市消防本部

〔東近畿〕
金沢市消防局

〔近畿〕
神戸市消防局

〔中国〕
広島市消防局

阿部進太郎

諏佐裕司

水品光春

小宮堅太

小林幸司

中西智剛

小澤和也

永妻翔太

萩原功太

秋山慎一

加賀克祥

新川和信

荒田賢治

戸邊信

並木義憲

丸山友也

杉田朋也

小藤忠之

佐藤隆広

青木仁

長谷部 湧

根本 豪人

片山 拓也

〔四国〕
高知市消防局

森下 真樹

末岡 真樹

〔九州〕
日置市消防本部

森本 真司

武市 昌也

川上 和正

東村 高志

中岡 憲一郎

上園 修平

中渡 裕樹

原口 正樹

梶原 博充

有馬 拓美



障害突破（連携訓練）

五人一組（補助者を含む）で、四人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により五つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。
【標準所要時間三分一五秒】

★表彰者

〔東北〕
秋田市消防本部

石川 綱紀

二戸地区広域行政事務組合消防本部

鎌田 知幸

登米市消防本部

工藤 慎一

〔関東〕
日立市消防本部

川上 宏樹

茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部

石塚 史好

さいたま市消防局

日下部 健太

伊奈町消防本部

山田 俊幸

市川市消防局

角来 逸平

栗田 義志

〔東海〕
岡崎市消防本部

小牧市消防本部

〔近畿〕
堺市消防局

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

〔中国〕
広島市消防局

〔九州〕
県央地域広域市町村圏組合消防本部

天草広域連合消防本部

南さつま市消防本部

熊谷 教道

高橋 圭平

宮崎 力彰

河原 吉秀

山岡 裕史

泉 浩三

桑山 野太

岩永 祐太

池崎 王彦

西上 大徳

水上の部

基本泳法（基礎訓練）



「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。

【標準所要時間四〇秒】

★表彰者

〔東北〕
秋田市消防本部

大嶋 明宏

〔関東〕
利根沼田広域消防本部

鈴木 一輝

東京消防庁

八潮市消防本部

〔東海〕
川崎市消防局

大森 迪明

〔近畿〕
高岡市消防本部

三ツ井 裕祐

〔近畿〕
堺市消防局

川久保 昭秀

〔中国〕
広島市消防局

松村 和哉

〔四国〕
松江市消防本部

藤島 達矢

〔九州〕
今治市消防本部

彌益 耕平

霧島市消防局

谷若 駿郎

〔標準所要時間四〇秒〕
複合検索（基礎訓練）



マスク、スノーケル、フィンを着装し、スノーケリングで障害物（救命浮環）を突破しながら水中に沈められたリング四個を検索して、引き揚げる。水中の行方不明者の捜索を想定した訓練。

【標準所要時間四〇秒】

★表彰者

〔東北〕
秋田市消防本部

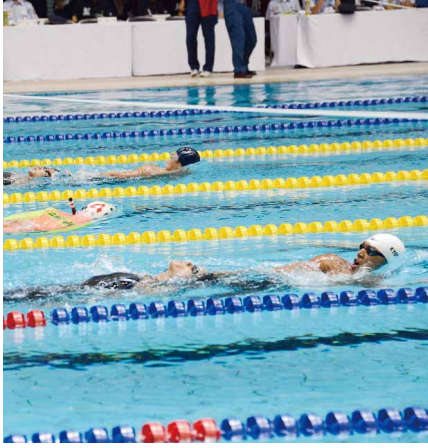
佐々木 雄太

大船渡地区消防組合消防本部

村上 浩朗

いわき市消防本部

鈴木 雅俊



溺者搬送（連携訓練）

【関東】
八潮市消防本部
千葉市消防局
市川市消防局
東京消防庁

川崎市消防局
大磯町消防本部
静岡市消防局
田方消防本部

【東海】
小牧市消防本部
大垣消防組合消防本部

【東近畿】
大津市消防局
東近江行政組合消防本部
湖南広域消防局

【近畿】
堺市消防局

【中国】
呉市消防局
東広島市消防局
松江市消防本部

【九州】
長崎市消防局
高遊原南消防本部

松澤 陽介

地引 悟

橋場 滉

阿部 大

齋藤 勇人

村上 文史

奥村 祐太

高村 知実

大川 友博

山下 恭史

鈴木 友結

千尋 亮一

今井 敦

北中 伸吾

中野 圭大

角本 晃

松本 卓郎

山本 康博

西川 卓

山田 祐太郎

荒牧 竜治

西岡 治彦

二人一組（要救助者を含む）で、救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者（溺者）を注視しながら近づき、チンプールで確保した後、ヘアークャリーにより救助する。
【標準所要時間四二秒】

★表彰者

【東北】
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

新潟市消防局

【関東】
東京消防庁

横浜市消防局

川崎市消防局

茅ヶ崎市消防本部

【東海】
名古屋消防局

小牧市消防本部

【東近畿】
高岡市消防本部

京都市消防局

【近畿】
枚方履屋川消防組合消防本部

神戸市消防局

【中国】
広島市消防局

藤堂 智章

竹下 大河

小川 暁子

深川 剛志

長村 令子

横山 元樹

松田 光浩

西口 幸仁

有澤 宏太朗

鎌近 真行

中川 暢

伊藤 勇介

稲葉 智文

清水 夏美

近藤 優輝

末角 篤

森 直也

宮本 貴也

藤堂 達也

平井 祐二

村上 洋平

山本 由美

平野 修也

小林 映慶

西村 崇

中野 暁夫

菊池 大典

八戸 陽一

新井 亮一

山本 亮一

山本 亮一

山本 亮一

山本 亮一

山本 亮一

山本 亮一

山本 亮一

【四国】
伊予消防等事務組合消防本部

塩野 和也

白石 佑紀

【九州】
上球磨消防組合消防本部

榎木 義明

木本 和寛

玉城 清彦

那覇市消防本部

人命救助（連携訓練）



三人一組（要救助者を含む）で救助者が「二重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチェストキャリーで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつづつある要救助者（訓練人形）を水面に引き揚げ、救助する。
【標準所要時間一分二三秒】

★表彰者

【東北】
大館市消防本部

長谷部 優作

福館 将太

【関東】
東京消防庁

川崎市消防局

【東海】
名古屋市消防局

【東近畿】
京都市消防局

【近畿】
大阪市消防局

【中国】
広島市消防局

東広島市消防局

【九州】
高松市消防局

鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部

長谷部 優作

福館 将太

二関 竜太郎

落合 功邦

秋葉 頼久

小谷 将一

矢野 裕太

千葉 健一

小西 一也

名和 正智

田村 夏美

嘉根 大介

大槻 晃弘

小川 陽一郎

榎木 皓平

吉川 将史

箱部 雄太

竹松 真吾

静川 徹哉

向井 勝成

木村 征嗣

奥田 大助

吉川 大助

高尾 弘之

長尾 弘之

高橋 哲郎

川田 哲郎

瀧江 芳彰

下橋 佐亮

河本 峻輔

溺者救助（連携訓練）



三人一組（要救助者を含む）で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二〇メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せ、救助する。

【標準所要時間四三秒】

★表彰者

- 【東北】秋田市消防本部
- 新潟市消防局
- 【関東】川崎市消防局
- 【東海】名古屋市消防局

- 洪谷 嘉直
- 佐々木 寿
- 門間 順輝
- 佐藤 雄介
- 本間 康幸
- 小林 崇
- 安江 弘樹
- 鈴木 佑一郎
- 森 脩
- 秋田 大輔
- 蟹江 博昭
- 藤井 洋次

【東近畿】大津市消防局

【中国】呉市消防局

【四国】小松島市消防本部

【九州】有明広域行政事務組合消防本部

- 谷口 孔二
- 中西 充
- 北野 齋
- 工藤 幸太
- 倉田 真自
- 中本 洋一
- 豊野 義弘
- 久米 亮平
- 松二 恵介
- 坂梨 寛俊
- 三澤 一精
- 池田 健志郎

水中結索（連携訓練）



三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された三種のロープ結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。

【標準所要時間一分四六秒】

★表彰者

【東北】八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

いわき市消防本部

【関東】東京消防庁

横浜市消防局

【東海】名古屋市消防局

【近畿】神戸市消防局

【中国】鳥取県東部広域行政管理組合消防局

広島市消防局

【九州】杵藤地区広域市町村圏組合消防本部

- 福田 智裕
- 相坂 正浩
- 下田 義久
- 永井 慎也
- 戸部 慶太
- 塩井 慶太
- 渡邊 裕太
- 志鷹 浩世
- 上澤 勇太
- 南 慧司
- 大谷 貴仁
- 東畑 隆大
- 白川 耕介
- 小出 潤基
- 小島 大祐
- 程島 弘成
- 澤田 匠
- 石黒 太郎
- 戸田 雄太
- 中畑 淳
- 藤井 洋次
- 伊藤 公一
- 山本 和揮
- 阿部 徹
- 上田 広大
- 濱田 大一
- 井上 康範
- 伊豆野 優
- 竹下 大河
- 柴田 卓
- 池田 智樹
- 大野 貴士
- 宮崎 貴士

水中検索救助（連携訓練）



四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者（訓練人形）を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。

【標準所要時間一分四二秒】

★表彰者

- 【関東】東京消防庁
- 川崎市消防局
- 【東海】大垣消防組合消防本部
- 【東近畿】大津市消防局

- 小出 大祐
- 阿部 一貴
- 山本 裕太
- 渡邊 将一
- 小谷 直也
- 宮本 剛
- 村上 知孝
- 北原 知孝
- 後藤 健生
- 鈴木 友結
- 中島 宏夫
- 水谷 佑典
- 大沢 仁志
- 千尋 亮一
- 澤田 将人
- 徳永 貴哉

〔近畿〕
大阪市消防局

〔中国〕
松江市消防本部

〔四国〕
東温市消防本部

〔九州〕
高遊原南消防本部

榎本 竜也
箱部 雄太
東園 絢也
石井 万久

山本 康博
吉田 悠
高橋 啓太
幸田 一輝

二神 和平
新立 和也
松下 晋太郎
幸家 洋人

土田 潤也
荒牧 竜治
西山 誠也
西岡 治彦

陸上の部

技術訓練
定められた救助方法や資器材に縛られることなく、創意工夫のもとで、より安全で迅速・確実な訓練を発表するもの。

〔中国〕
広島市消防局

佐々木 康博
沖野 和一也
迫智 洋一
越田 巧介
岡方 司
四田 弘
二岡 崇
水村 修
和田 義人



〔訓練想定〕

大規模地震が発生し、倒壊した建物や転落した車両に要救助者が複数いるとの想定により、余震の継続するなか、安全管理の徹底と救出優先順位を的確に判断し、救出優先第1順位の要救助者を当市が応急ブリッジの設定により救出するとともに、緊急消防援助隊の増加要請を実施する。

〔着眼点〕

- ①余震警戒のため地震警報器の設定と、安全エリアの指定及び二次災害防止。
- ②応援部隊との適切な連携活動。
- ③立体的な訓練に係る適正な任務分担と人員配置。
- ④地震による救出活動の危険因子を軽減するため、地物の使用を制限し車両や積載装備を有効活用する。

〔中国〕
福山区消防組合消防局

内田 克尚
佐野 浩史
山本 真司
柳原 崇志
松本 直貴
石崎 敬昭
田上 一修
百濟 友一
北浦 友一



〔訓練想定〕

震災により倒壊した建物内に要救助者2人が取り残されているもので、1人は意識清明で自力歩行可能、もう1人は瓦礫内で逃げ遅れていることから位置、傷病程度は不明。被災した現場にあっては活動拠点より低所の位置である。

〔着眼点〕

- ①余震の発生が予測されることから、隊員の安全確保及び要救助者の早期救出
- ②狭隘空間への隊員投入方法の工夫
- ③閉所空間での要救助者への接触、処置及び救出活動。
- ④ザイルを使用した効率かつ迅速な低所からの救出方法である。

〔東北〕
新潟市消防局

古井 広樹
棚邊 健
兒玉 勝人
間 健
渡邊 悠
高橋 涉



〔訓練想定〕

地震発生に伴い、海岸沿い国道に架かる橋の片方の連結部分が外れ、走行していた車両が約30m崖下へ転落した

もの。要救助者は運転手1名、事故車両から自力で脱出したが、その場で動けなくなったもので、落下衝撃による高エネルギー外傷と判断される。容態は意識レベル1桁、右足首の痛み、身体の震え、寒さを訴えている。救助工作車は災害現場から約10m後方の位置に部署している。なお、現場付近には救出に使用できる支点はない。

各地で災害が発生しており、救急隊、航空隊は他の災害に出勤しているため対応できない。

〔着眼点〕

- ①要救助者は高エネルギー外傷を伴っているが、救急隊又は医師による救命処置や医療行為が行えない中での早期救出を主眼とした活動。
- ②災害現場付近に支点となる地物がないため、アリゾナポーターテクスを活用し、スケッドストレッチャーと併用することにより安全、確実、迅速に救出する。
- ③基本的に忠実な規律ある行動。

水上の部

【近畿】
神戸市消防局



水門 浩一
高見 洋輔
山本 鉄也
広内 実
加賀山 達也
村上 拓也

（想定内容）
岸壁から車両が海に転落したものと
潜水活動において危険要因のひとつ
として挙げられるのは視界の悪さであ
る。普段の訓練や現場活動では、フイ
ンワークや中性浮力をとることで、フイ
ンワークの巻き上げ防止に努めている。
今回は、技術面以外にも、ヘッドロー
巻き上げないようにするために、どうす
れば良いかを考え、器具を作成したも
の。

【北海道】
札幌市消防局



工藤 光紀
坂本 佳実
橋本 拓也
泉本 友也
高橋 友也
白川 瞬

（想定内容）
集中豪雨による河川の氾濫や震災に
よる津波の影響を背景とし、「水没した
建物内に、人が居るかも知れない」と
の通報を受け水難救助出動したもの。
なお、現場に到着した水難救助隊が、
救命ボートに隊長以下4名が乗船して
水没家屋に向かい、建物の周囲に障害
物を認め、建物の手前約10mの位置に
アンカーを下ろして停船したところか
ら実施する。



一般財団法人全国消防協会
Firefighters' Association of Japan

— 安心への選択 —

消防職員とその家族を守る団体保険です！

全国消防グループ保険（生命保険）

消防職員医療保険（損害保険）

消防職員傷害保険（損害保険）

消防職員賠償責任保険（損害保険）

一般財団法人全国消防協会の消防団体保険は、全国16万人の消防職員の助け合いの制度です。
消防職員とそこそご家族の皆様の福利厚生に是非ご利用下さい！

お問い合わせは ☎ 0120-119-147（生命保険） ☎ 0120-065-988（損害保険）

消防団体保険の収益は、全国消防救助技術大会の開催をはじめ、全国の消防職員のための事業の実施に活用されています。

第42回
全国消防救助技術大会
市民インタビュー

水坂さん

● 仕事の関係で消防署に行く機会があり、そこで隊員の方から今回の大会があることを聞きました。
● 皆さん動きが早くてびっくりしました。普段から一生懸命訓練をしているのを見ていたので、その成果を見るのができて嬉しいです。
● 以前、救急車で病院に搬送されたことがあり、その時、隊員の方に大変お世話になりました。それ以来、消防の方には本当に感謝しています。僕も将来レスキュー隊員になりたい！



大谷さん

● 幼稚園で大会のチラシをもらい、来場しました。
● こうした訓練は初めてでしたが、ロープを渡るのがすごく早くて驚きました。

● 消防関係のグッズもたくさんあって、驚きました。
● 普段、救急車はよく見かけるけど、レスキュー隊員の方を見たのは初めてです。
● レスキュー隊員になるには、訓練が必要だということが、とてもよくわかりました。



大野さん

● 引揚救助に夫が出場しているので家族で応援に来ました。
● 普段から、この大会のための訓練の話を知っているから、まずは地域の代表になるまでが大変なことを知っています。今までの訓練が報われて本当に誇らしいです。周りの皆さんにもありがとうと言いたいです。そして、これまで努力してきたことが今後に役立てればいいと思います。
● いつも怪我がないように願っています。昨日も安芸の宮島に行ったとき、娘が「お父さん怪我しませんよーに」と祈っていました。
● お父さん、怪我しないでね、大好きだからがんばってね。
● この大会の素晴らしいを見て、消防には「和」があるなと思いました。



川崎さん・後藤さん

● ロープブリッジ救出に夫が出場しているので、母と妹と応援に来ました。
● チームビルディングの難しさや、ハイレベルなスキルが求められて、円形脱毛症になるほど頑張っていたので、出場できてとてもうれしいです。



● 小嶋さん
● 友人が水上の部に出場するということが、応援に来ました。
● 家の近くで土砂崩れがあった時や自宅に救急車を呼んだ時など、消防の人たちに助けてもらったことがあり、とても感謝しています。
● 今日の大会をみて、皆さんがこれまで



甲斐さん・岩田さん

● 鍛え上げた肉体が素晴らしいです！
● 救助隊というと、オレンジ色の服を着てヘルメットを被って、ロープを使って救助するようなイメージがあったんですけれど、水上の救助方法にもいろいろあるんだなあと感じました。
● 東日本震災で消防の方が活躍しているのをテレビで見ました。これからは頑張ってください。



オープニングセレモニー (陸上会場)

「書道ガールズ 消防救助を書で表現」

日最高気温が、国内最高記録を更新した今年の夏、灼熱の太陽のもと今夏の熱さ以上の熱気をまとい、広島県立五日市高等学校書道部の皆さんが登場し、書道パフォーマンスを披露されました。

軽やかな音楽に合わせながら、「結」と特大の布の中央に朱赤で揮毫。その周囲には、消防救助を表現した言葉や「絆」を青く記した。書道部部長の2年植田彩加さん(17歳)は「緊張したけれど、気が引き締まる思いでした。」書道部パフォーマンス部長の2年中柄佳子さん(16歳)は「消防のイメージを表現するため、強い雰囲気を書体で力強く書き



ました。」と話していただきました。本日の書道パフォーマンスは、10名で3つのパートに分かれ数人ずつが交互に縦3m横6mの布に消防救助への思いを込めメッセージを書いていただきました。メッセージは、訓練塔に掲げられ会場からは、盛大な拍手と歓喜の声が上がりました。



オープニングセレモニー (水上会場)

「広島文教女子大学附属高等学校和太鼓部「文教太鼓 葵」」

水上会場の広島市総合屋内プールのオープニングを盛り上げていただいたのは、広島県内唯一の女子高校生だけの和太鼓団体、広島文教女子大学附属高等学校和太鼓部「文教太鼓 葵」の皆さんでした。開会式が終了し、これから始まる競技を前に緊張感が漂うなか、「文教太鼓 葵」の皆さんが入場しました。

演奏が始まると、女子高校生だけとは思えない力強い音、そして迫力ある声で会場全体を一気に惹きつけました。そして、演奏はもちろん、演奏中に見せる元気いっぱい笑顔で隊員や来場者を魅了



していました。「緊張していつものようにできなかったところもありましたが、出場する隊員みなさんにエールを送るべく、一生懸命演奏しました。少しでも勇気と元気を与えられていれば嬉しいです。大変な仕事だと思いますが、これからも頑張ってください。」と、部長の重村衣美さん。

部訓を「和」をもって演技となし、和心なくして部にあらずと定め、太鼓演技の上達だけでなく、稽古や活動を通して、「心」の成長を目指して活動されているとおりに、とても元気で礼儀正しい姿が印象的でした。



消火器体験コーナー

消火器体験のコーナーでは、訓練用に使われる水消火器を使って、実際に燃えている火に向かって消火器を操作しました。

子どもたちが操作すると、消火器がすごく大きく見えますが、それでもしっかり「ピンを抜く」、「ホースを構える」、「レバーを握る」の手順通り操作し、見事に消火完了！これで、いざというときも安全！



キッズレスキュー！

キッズレスキューのコーナーでは、未来の消防士である子どもたちがレスキュー隊員になりきって、水平に張られたロープを渡ったり、はしご車から垂直に垂れ下がったロープを登ったりと、レスキュー隊員の訓練を体験しました。

レスキュー体験を終えた子どもたちは、キッズレスキューに認定され、その認定証を手にした子どもたちはどこか誇らしげでした。



降雨体験コーナー

真夏の太陽と救助隊員の熱気でいっぱいの会場にゲリラ豪雨？降雨体験コーナーでは、最大で1時間あたり150ミリの雨を降らせる降雨体験機が登場。参加者は長靴に履き替え傘を片手に、弱い雨から1時間に100ミリ以上の豪雨を体験し、「冷たい」と声を上げながら、大雨の恐ろしさを実感しました。



地震体験コーナー

地震体験コーナーでは、やはり地震に対する関心が高いためか、子どもから大人まで多くの方が、震度7の揺れや阪神淡路大震災の揺れを再現した地震を体験することができる起震車に長蛇の列を作っていました。

最初は余裕の参加者も、強い揺れが起きると必死に机にしがみつき、職員から地震発生時の注意事項に真剣に耳をかたむけていました。



煙体験コーナー

煙体験コーナーでは、火災発生時の煙の特性等を体験してもらうために、煙が充満したテントの中を、出口を目指して進みます。テントに入るときには、みんなハンカチを口に当て、煙を吸わないように注意しながら、濃煙を体験しました。

体験中に、開催地広島を本拠地とする広島東洋カープのマスコット「スライリー」も登場。瞬く間に、子どもたちが集まってきました。



消防車両展示コーナー

消防車両展示コーナーには、子どもたちに大人気のはしご車をはじめポンプ車、救急車が集結。子どもだけでなく、大人たちも普段あまり見ることができない消防車や救急車の車内や資機材に興味津々の様子でした。

憧れの消防車に乗ったり、消防車の前で写真を撮ったり、子どもも大人もみんな笑顔でにこにこしていました。



大会ダイジェスト

